

項目	内容
名称	ギムネマ酸、ギムネム酸 [英]Gymnemic acid [学名]-
概要	ギムネマ酸は、インド産の植物であるギムネマ・シルベスタの葉に、カリウム塩 (ギムネミン) として含まれる。トリテルペン骨格を持つサポニンのひとつであり、味覚変革物質である。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <p>「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・ギムネマ・シルベスタの葉に含まれる (31)。 ・ギムネマゲニン (トリテルペン) とD-グルクロン酸からできた配糖体である (31) 。 ・ギムネマには I ~XIII のギムネマ酸が含まれる (101)。
分析法	-
有効性	
ヒト循環器・呼吸器で	調べた文献の中に見当たらない。

の 評 価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	<p>RCT</p> <p>・大学生67名 (試験群37名、平均21.8±3.7歳、アメリカ) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、菓子(1)を1サービング摂取させた後ギムネマ酸3.5 mgを摂取させたところ、2サービング目を摂取した人の割合と2サービング目の菓子に対する嗜好性の低下が認められた。一方、2サービング目に対する主観的欲求に影響は認められなかった (PMID:28944714)。</p>
参考文献	<p>(31) 理化学辞典 第5版 岩波書店</p> <p>(101) 健康・機能性食品の基原植物事典 中央法規</p> <p>(PMID:28944714) J Psychopharmacol. 2017; 31(11):1496-502.</p>	